

鈴鹿市地域公共交通会議

平成21年1月16日設置
平成22年3月12日連携計画策定



概要

鈴鹿市では、「すべての公共交通機関が連携して移動手段を確保する」「まちづくり施策と連携した公共交通サービス(交通まちづくり)を推進する」を目標として今後具体的な取り組みを行っていきます。

平成22年度は、「すべての公共交通機関が連携して移動手段を確保する」の実現に向けて「公共交通の利用促進」と「公共交通の利便性向上」に取り組み事業を実施していきます。

○公共交通利用総合案内書の作成

公共交通の利用促進を図るため、市内の各種公共交通の時刻表(鉄道の主要駅と路線バス、コミュニティバスの路線図入り)を作成、全戸配布する。

作成にあたっては、各公共交通機関の乗り継ぎ情報や乗車方法等を記掲載するなど、公共交通機関を連携させて付加価値を高め、利用促進できるような構成を検討する。

○コミュニティバス(C-BUS)の利便性向上検討調査

平成22年度までを実証運行期間としている南部地域コミュニティバス(C-BUS)の現状を分析し、より利用促進の図れる運行方法を検討する。

○新公共交通システムの検討

公共交通利便性確保・改善検討地域として設定された地域において、新しい公共交通システムの導入可能性や方策について検討する。

なお、該当地域には現在は自主運行形態をとっている路線があるため、この路線の今後の在り方について、関連市との協議も行っていく。

鈴鹿市地域公共交通総合連携計画の目標

1.すべての公共交通機関が連携して移動手段を確保する

- (1)公共交通の利用促進
- (2)公共交通の利便性向上

2.まちづくり施策と連携した公共交通サービス(交通まちづくり)を推進する

- (1)公共交通と地域資源の連携

